

意見募集の結果について (赤根川、真名川に関する事項)

1 意見募集の概要

(1) 募集期間

- ・ 令和6年11月14日 住民説明会（結とぴあ）
- ・ 令和6年11月15日 一般縦覧（県ホームページ、大野市ホームページ、
～11月29日 大野市役所、奥越土木事務所）

(2) 募集方法

- ・ 住民説明会での質疑応答、郵送、FAX、電子メール

2 結果の概要

(1) 意見：10件 質問：6件 要望：2件 計18件

(2) 頂いた意見の内容と、計画原案での考え方や対応

- ・ 次ページ以降

◆ 計画原案に対する意見とその対応

番号	章	項目名等	頂いた意見の主な内容	計画原案での考え方や対応
1	4「河川整備計画の目標に関する事項」	「洪水等による災害の発生防止または軽減に関する目標」 (原案p13~14)	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨時には、排水路から赤根川に排水されず、低水地帯に排水が滞留し、水位が上がるとともに住宅地が浸水することになる。赤根川の拡幅および川底の掘り下げを行うか、赤根川に放水する排水設備を設置するかの方法しか考えられない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回定める河川整備計画によって、赤根川の氾濫による家屋浸水被害の防止を図ります。また、赤根川流域では田んぼダム等の流域治水対策を進めており、さらに関係者とも協力しながら促進していきます。
2~10	5「河川整備の実施に関する事項」	「河川工事の目的、種類および施行の場所ならびに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要」 (原案p17~18)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の安心、安全のためにも、1日も早く改修が図られるよう期待している。 大野は豪雨の度に浸水するので早く改修を進めて欲しい。 赤根川周辺では過去に浸水被害が発生しており、計画変更による改修が地域住民の安全確保にとって不可欠である。新しい計画は、地域の自然環境への配慮が十分に行われていることが理解できた。重ねて赤根川河川計画の早期実施を強く要望する。 早期の事業化をお願いする。 この改修計画が1日も早く実現することを切に願っている。 大野市の発展のためにも安全安心のまちづくりに期待している。 いろいろと大変でしょうが、一日でも早い工事の完成をお願いする。 近年大雨があたり前にある中で、この工事が進み少しでも被害が減る様であれば助かる。 赤根川周辺の我々にとって、一日も早く赤根川の改修が終えて安心して暮らせる地域にして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日も早く今回変更予定の整備内容が完了できるよう努めていきます。

以下は計画そのものに対する意見ではないものの、
計画の内容や今後の事業を行う上での質問に対する回答を記載する。

番号	質問	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> 現計画通りに太田堰を撤去してポンプ取水に変えればよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 流域住民にとって何がよいかを考えて現実的な計画を作り提案していますので、ご理解をお願いします。
2	<ul style="list-style-type: none"> 現計画の深さにポンプを設置し取水している。計画を変更するにあたり補償はして貰えるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現整備計画に基づき設置されているポンプの補償については、今後工事を進めていく中で、適切に対応させていただきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 暫定計画として片側を先行改修していくとのことだが、暫定整備はどの範囲で実施するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修は下流側から進めていくこととなりますが、下流から順次工事を進めていくと、どうしても時間がかかるため、上流域まで早期に進めていけるよう暫定整備を提案しています。
4	<ul style="list-style-type: none"> 暫定計画で上流まで整備を完了した後に、また下流に戻って対岸を工事すると考えればよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問のとおりです。
5	<ul style="list-style-type: none"> 赤根川の河床を掘り下げない計画で日詰川の水が抜けるのか不安である。赤根川が改修されることで日詰川流域の浸水被害も解消されるのか。流域治水も踏まえて説明して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日詰川について、河床を掘り下げない今回計画においても、洪水時の赤根川の水位は日詰川よりも低い位置に抑えています。そのため赤根川の工事が下流側から順調に進んでいけば、日詰川の安全にも少なからず効果があると考えています。流域治水について、赤根川流域では犬山地区での田んぼダムの計画や、赤根川支川の新堀川（大野市管理）の上流で洪水時の貯留施設の計画があると聞いています。
6	<ul style="list-style-type: none"> 50年に1度の大雨というのは福井豪雨並なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 50年に1度の大雨は福井豪雨よりもさらに大きな雨になります。

その他、事業を実施するにあたっての要望について、以下に紹介する。

番号	内容	回答
1	<ul style="list-style-type: none">河川改修により地下水が枯渇しないよう十分配慮して欲しい。	<ul style="list-style-type: none">工事は地下水の保全に十分に配慮して、近隣の地下水位を観測しながら行います。もしも、地下水位が低下した場合には必要な対応策を講じていきます。
2	<ul style="list-style-type: none">赤根川に近づくことができる階段などを増やして欲しい。	<ul style="list-style-type: none">現時点では具体的な計画はありませんが、河川の利用促進のため、人と河川とのふれあいの場の維持・形成に配慮していきます。